

る。すなわち、県立高校の配置をどうするか、また、それに伴う新宮改築費をどう計上するか、という問題がその一つであるし、第二には、小、中学校の適正配置と文教施設に対する国庫補助金配分の問題があり、ついで、特殊な問題としては、県立図書館の改築、特殊教育の充実などがあげられてくる。なお、ここで忘れられてならないことは、財政再建計画下の教育水準を、どうして高めていくかについて、大きな関心が払われているかということである。それでは、こういう陳情は誰によって提出されているだろうか。

何といっても多いのは、市町村の理事者からの陳情であるし、第二がPTAから、第三が校長からである。

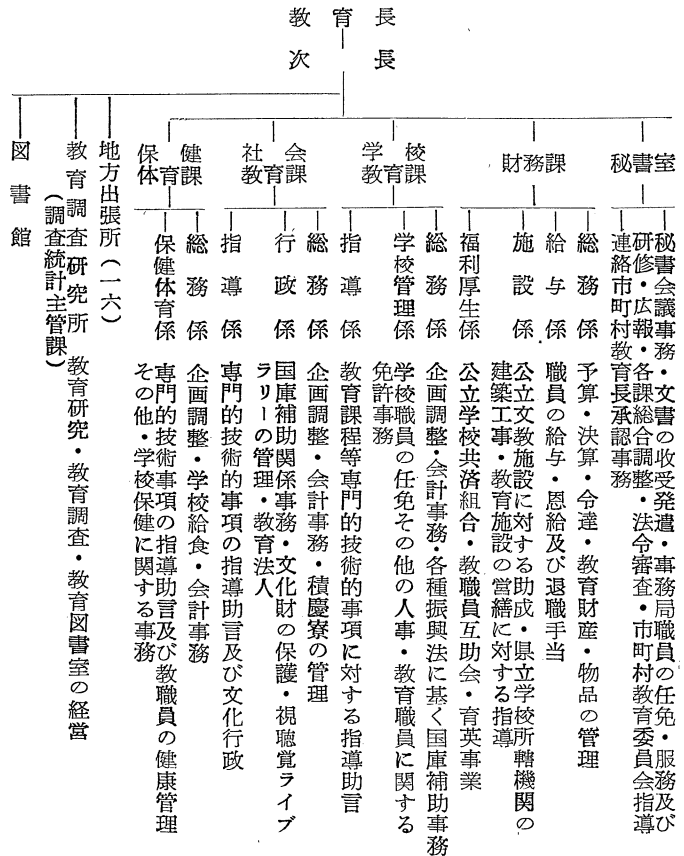
こうしてみると、陳情にあらわれている問題は相当のはばの層にひろがっているということができよう。

三、事務局のしくみ

教育行政というものは、教育委員会の会議だけで行われるものではない。それはちょうど人間が頭だけでは生きていけないのと同じである。胸があり手足がないければならない。その胸に当り、手足にあたるのが、教育委員会の場合は事務局である。

事務局のしくみを表示すると、次のとおりである。

事務局の機構と所管事項



地方出張所

氏名	性別	年齢	職業	職名	氏名	所在地
(長)古張 信二	男	48	醸造業	教育長	栗村 虎雄	松野一盛
(代)角田林兵衛	男	55	会社社長	教育次長	佐藤 光	福島市中町
芳賀 新平	男	39	耶麻新報社長	秘書室長	三本杉 国雄	池幸吉
荻宿 俊風	男	58	自由業	財務課長	清野 清次	伊達郡桑折町
太田 緑子	女	41	無	学校教育課長	池下 泰弘	長谷川 秀夫
				社会教育課長	田中 平作	安達郡二本松町
				保健体育課長	鈴木 勝枝	岡 徹
				教育調査研究所長	松田 吉与	郡山市虎丸町
				図書館長	桑原 善作	須賀川市八幡西
						浦井 芳蔵
						塚原 央
						高杉 清寿
						東白川郡棚倉町
						石川郡石川町
						玉川郡石川町
						古市 克憲
						田村郡三春町
						南会津郡田島町
						山武 雄
						南会津郡田島町
						森川 藤次
						会津若松市栄町
						豊田 要三
						喜多方市惣座の宮
						桜木 甚吾
						河沼郡会津坂下町
						間覚 雄
						平市堂の前
						西牧 清富
						双葉郡富岡町
						井正
						相馬市北町